

国際ロータリー第2500地区第6分区

帯広東ロータリークラブ会報



2014-2015 年度
帯広東ロータリークラブ
会長 西田 重人
幹事 深澤 佳世子
メディア委員長 加藤雄樹

「和 気 藹 々」

第1463回例会

平成27年3月3日(火) 於 アパホテル帯広駅前

■創立: 1984年6月15日 ■認証: 1984年6月18日 ■例会: 毎週火曜日 12:30~13:30
■事務局: 帯広市西3条南9丁目 帯広経済センタービル4F Tel.0155-25-7347 ■会場: アパホテル帯広駅前



2014-2015 年度
国際ロータリーテーマ
【ロータリーに輝きを】

2014-2015 年度国際ロータリー会長
ゲイリーC.K.ホアン

ガバナーテーマ
【誠 心 誠 意】

国際ロータリー第2500地区 ガバナー
奥 周 盛

◎起 立 金尾 S A A
◎友情の握手 金尾 S A A
◎点 鐘
◎開 会 宣 言 金尾 S A A
ロータリーソング
奉仕の理想



ゲスト紹介

西田会長

3月結婚記念日を迎える会員

西藤 亭 会員
昭和37年3月25日
伊藤 克美 会員
昭和39年3月17日
石川 博機 会員
昭和43年3月8日
板倉 利男 会員
昭和44年3月24日
加藤 武志 会員
昭和55年3月22日



3月誕生日を迎える会員

金尾 浩幸 会員 昭和15年3月28日
板倉 利男 会員 昭和17年3月5日
曾根 一 会員 昭和26年3月11日

◎パースデーソング

◎乾 杯

西藤会員

◎会 食

会長挨拶

西田会長

弥生、3月。

この響きがなんとも好きで、若かりし頃、弥生ちゃんって女の子いないかな…と思ったことがあります。

それはさておき、3月は春の彼岸の月であります。

宗教のことはうといのですが、彼岸は、古来日本では春・秋二度の季節につき、仏典にちなんで供養などが行われるようでありますが本来、仏典で言う彼岸には此岸(現世)に対する別次元の世界を示す深い意味が込められているようであります。

長い年月学園で学んだ若人が、いよいよ学業を終えて社会に羽ばたく3月は、いかなる年においても、最も希望と夢に満ちた月であると言えます。



米山奨学生 奨学金支給式・修了書(記念品)授与

西田会長

☆R I 2500地区米山記念奨学生
イ・スンヨン 様

3月20日に卒業になります。
このように卒業できたのも、カウンセラーの高田さんや、東クラブの皆様が支えてくれたおかげだと思っています。本当に感謝しています。ありがとうございました。



会務報告

深澤幹事

①2500地区第6分区 I M
3月14日(土) 受付 14:00
場所: 北海道ホテル

特別講演：米山記念奨学生OB
 ジャンチブ・ガルバドラッハ様
 米山記念奨学会前事務局長
 (東京北RC) 坂下 博康 様
 ②帯広東RC、3月31日(火)は休会
 と致します。



ニコニコ献金

相澤親睦活動委員

- 西田重人 会長 女の節句「ひなまつり」深澤幹事、イ・スンヨンさん、医王田さん、山岸さんおめでとう。
- 深澤佳代子 幹事 今日はおひなまつり、写真は我が家のおひなさまです。お楽しみ下さい。
- 金尾浩幸 会員 誕生日祝い有難度う御座居ます。
- 西藤 亨 会員 結婚祝いをありがとう。
- 高田 進 会員 本日、米山奨学生イ・スンヨンさんの最後の例会出席となります。皆様大変お世話になりました。
- 加藤雄樹 会員 本日の卓話はメディア担当です。よろしく願いいたします。
- 古川直也 会員 皆様、連日の除雪、ご苦労様でした。今日は、もう春ですね。
- 加藤武志 会員 結婚祝をありがとうございます。



出席報告

高田出席委員長



第1459回例会	2月3日	出席者 26人
第1460回例会	2月13日	出席者 20人
第1461回例会	2月17日	出席者 23人
第1462回例会	2月24日	出席者 24人
第1463回例会	3月3日	出席者 18人

プログラム

加藤雄樹 メディア委員長

(尚)アドサイン 代表取締役 / 電信通り商店街理事長
 長谷 渉 様

「帯広電信通り商店街

まちづくり活性化事業の取り組み」

商店街の活性化は、商店街自体をブランド化することが究極の活性化だと考えています。たとえば「おばあちゃんの街」と言えば、巣鴨商店街と思い出すのではない

でしょうか。私どもの商店街もハードルは高いですが、少しでも近づければと思っているところです。

電信通りでは現在、社会問題を解決しつつ空き店舗を活用し、高齢者・障がい者を支援する事業を展開、雇用創出で効果をあげています。ポイントは、他の組織との連携、もう一つは国の認定事業になった事です。商店街・社会福祉法人「慧誠会」・NPO法人「十勝障がい者サポートネット」三者でコンソーシアムを結成し、商店街コンセプト「お年寄り 障がいのある方と協働・共生する商店街」づくりを目的に、社会問題に対応する解決にむけ、様々な事業に意欲的に取り組み、現在障がいのある方を含め90人にも及ぶ雇用を創出するなど成果を挙げています。

経済産業省北海道経済産業局より平成23年3月31日付で、地域商店街活性化法に基づき北海道内での1号として認定され、4ケ年間の事業が終わろうとしています。原資の確保が事業を推進出来た要因ではないかと思っています。

今後、商店街が存続して行くために、地域のために何ができるかを大切にしていきたいと考えています。正直、商店街がそう簡単に良くなるとは思っていませんが、少なくとも事業を継続することによって、衰退は止めることが出来るのではないのでしょうか。

少子高齢化・人口減少など社会構造の変化が進み、街区にはサービス業、医院の立地が進むのに反し、小売り業種が少なくなりつつあります。私どもは、「協働・共生する商店街」のコンセプトのもと、お年寄りや障害のある方、皆が普通に暮らせる商店街・地域を夢見て、その担い手としてのあり方を模索しながら、今後も社会に貢献する商店街づくりを続けていく覚悟であります。

次週プログラム

3月14日(土) 「6分区分M」※3/10の繰下げ例会
 3月17日(火) 「ローターアクト卓話」
 (青少年奉仕・RA委員会)